

みなと区議会だより

No.184 2011年(平成23年)1月1日

港区議会 / 〒105-8511 (専用郵便番号) 港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

第4回定例会

平成22年11月25日~12月3日



新年
おめでとう
ございます



港区議会議長

島田 幸雄

あけましておめでとうございます。
区民の皆様方には、健やかな新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

港区議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年を振り返って見ますと、まず思いを致しますのは、世界の桜舞台における日本人の活躍についてです。

目標に向かって挑戦した若者達は、バンクーバー冬季五輪、サッカーワールドカップ及び広州アジア競技大会において見事な成果をあげ、多くの人々に感銘を与えました。

また、長い年月をかけ研究を続けた2人の化学者は栄えあるノーベル賞を受賞しました。

さて昨年は、帝国議会開設から一二〇周年の記念すべき年でした。
去る11月29日参議院本会議場において天皇、皇后両陛下をお迎えして式典が開かれました。

天皇陛下は、「現下の内外の諸情勢に思いを致すとき、国会が国権の最高機関として国の繁栄と世界の平和のために果たすべき責務は、いよいよ重きを加えている」とお言葉を述べられました。

昨年は、多くの新しい政党が結成されるなど、予想だにできなかった大きな政治変動が生じた年でもありました。

そして一昨年夏の総選挙で、歴史的な政権交代後初の国政選挙である参議院選挙が行われ、野党が多数を占める結果となり、いわゆる国政の「ねじれ」現象が生じています。

区政においては、現下の経済状況による厳しい財政状況の中でも、区民福祉向上のため積極的に施策を展開しています。

3月には、南麻布四丁目に区民待望の高齢者保健福祉施設がオープンし、麻布の地に「ありすの杜南麻布」としてしっかりと根付き、地域に溶け込んでおります。

また、港区コミュニティバス「ちいばす」も、芝、麻布、青山、高輪、芝浦港南の新たな5つのルートで実証運行を開始しました。

地域主体の新しい国づくりを目指し、「地域主権関連3法案」が国会に提出されましたが、いまだ地域主権改革は不透明な状況が続いています。

こうした中であつて我々、地方議会の果たすべき役割は一段と大きいものがあります。

区政や区民生活を取り巻く環境はまだまだに厳しい状況にあります。今後とも区議会におきましては、区民の皆様へ区議会活動の情報提供に努めながら、チェック機能のさらなる充実、強化を図り、議会の役割を果たし、区民の負託に応えてまいります。

結びに、港区の一層の発展と区民の皆様のご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

目次

- 議長あいさつ..... 1
- 新春を迎えて....2~3
各会派の抱負
- 代表・一般質問...4~6
- 請願、委員会の活動..7
- 審議結果、.....8
お知らせ

議長	島田 幸雄
副議長	達下 マサ子
大滝 実	小齊 太郎
山本 閉留巳	杉浦 のりお
近藤 まさ子	杉本 とよひろ
ゆうき くみこ	二島 豊 司
赤坂 だいすけ	いのくま 正一
なかまえ 由紀	水野 むねひろ
七戸 淳	古川 伸 一
池田 こうじ	清原 和 幸
うかい 雅 彦	熊田 ちづ子
星野 喬	鈴木 洋 一
阿部 浩 子	林 和 雄
森野 弘 司	菅野 弘 一
杉原 としお	風見 利 男
沖島 えみ子	樋島 紀和子
渡辺 紀和子	藤本 専 太郎
井筒 宣 弘	鈴木 たけし
(議席番号順)	

迎え



各会派の抱負

フォーラム民主



七戸 淳



杉浦 のりお



樋渡 紀和子



阿部 浩子



渡辺 専太郎

迎春 皆様におかれましては、お健やかな新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。
さて、昨年は「ちいばす」が新たに5路線拡大し、皆様、便利にご利用されているのではないのでしょうか。また、区民要望が大きかった高齢者

施設「ありすの杜南麻布」も開設しました。いくつになっても安心して住み続けられる港区をフォーラム民主としても目指してまいりました。私たち議員の任期は今年4月までです。今まで、皆様からいただいたご要望が一つでも多く実現できる

ようにこれからもしっかりと取り組んでまいります。
保育園の待機児童解消をはじめとする質の高い子育て支援、高齢者、障がい者等の福祉施策、環境に配慮したまちづくり、また、産業育成、観光資源を十分に生かし、商店街の振興、安全安心なまち、誰もがこの港区に住み続けられることができるよう、また住んでよかったと思える港区になるよう、区民の皆さま方と協働し取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、今年もよい年になるようご祈念しております。
本年もよろしくお祈り致します。

自民党議員団

あけましておめでとうございませう。昨年は、私たち自民党議員団に大きなご声援、ご支援を頂きましてありがとうございます。
国政が低迷する中、都心港区の行政サービスの質の確保を目指すと共に、新たな人口増加が一段落した芝浦・港南地区、昨年は小学校整備を完了することができました。芝浦小学校の改築も完成し3学期から芝浦四丁目の新校舎で授業が開始されます。港南小学校は昨年4月から各学年4クラスでスタート、5クラス対応できる教室を確保し、屋上の緑化、環境に配慮し、一部ソーラーパネルを設置するなどし、引き続き港南幼稚園建設、最後に校庭整備が完成しますと終了となります。港南子ども中高生プラザ、地域コミュニティ施設、保育園等で、工費は34億7千万円強を予定しております。芝浦地区子ども中高生プラザ等保健複合施設建設工事が進められており、平

成24年3月には完成予定です。工事費は約40億円です。高輪子ども中高生プラザ工事が進められており平成23年8月末に完成します。工事費は15億3千万円強です。麻布地区につきましては南麻布四丁目に用地を確保し、老朽化した本村福祉会館、本村保育園の合築等を検討しており、早急な完成を望んでおります。将来を担う子どもたちが、健全に健康に成長していただくため整備を進め、活発に利用されております赤坂子ども中高生プラザ共々、大きく世界に羽ばたくことを期待しております。

新年最大の事業は、田町駅東口北地区公共施設整備整備です。現在のスポーツセンターは昭和50年3月に完成し、35年がたち老朽化が目立ち、改築が急がれておりました。そこで開け行く芝浦・港南地区の区民サービス向上のため、東京ガス用地との交換により、施設を利用しながら建設し、完成後に現在の施設を解体する計画です。新施設は、スポーツセンターは勿論のこと、芝浦港南地区総合支所を始め、地域コミュニティセンター、芝浦港南地区介護センター、保育園、それに演劇ホール、音楽ホール各600人収容施設などが計画されており、工事総額は港区一般会計年間予算の半額、500億円以上が予定されており、積み立ててまいりました基金、1300億円を活用してまいります。



池田 こうじ

赤坂 だいすけ

二島 豊司

ゆうき くみこ



菅野 弘一

森野 弘司郎

うかい 雅彦

清原 和幸



島田 幸雄

鈴木 たけし

井筒 宣弘

杉原 としお

保守日本



水野 むねひろ



山本 閉留巳

あけましておめでとうございませう。いつも温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。保守日本は港区から誇りある国づくりをめざし、たちあがれ日本と日本創新党所属議員が共通の理念を元に大同団結して結成されました。

これまで東麻布暫定保育室の存続推進、六本木米軍ヘリポートによる騒音対策、朝鮮学校保護者補助金の実態解明に取り組み、また政府に対して「尖閣諸島海域における中国漁船の領海内での不法操業と海上保安庁船に対する衝突事件への我が国政府の対応に抗議する意見書」を提案し可決されました。私達は安全・安心でき品格ある港区をめざし、現場主義に基づき区民の声を反映し、行動力と透明性に満ちた区政を一層進めます。区民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



鈴木 洋一

上げ、一層のご支援とご協力を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。

新春を

各会派の抱負



いのくま 正一



大滝 実



星野 喬



熊田 ちづ子



沖島 えみ子



風見 利男

共産党議員団

あけましておめでとうございます。共産党6名の区議会へのご支援ご協力に心からお礼申し上げます。みなさんと力を合わせ「ちいばす」5路線の新設、5カ所605名の緊急暫定保育室開設、東麻布保育室の延長、定員250名の(仮称)桂坂保育室の設置、特養ホームあり

すの杜南麻布」の開設、出産費用助成60万円に増額、芝浦埠頭グラウンドの開設、大企業の道路占用料改正での増収等々、多くのことを実現してきました。十一月議会でヒブ・子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用助成を2011年度実施を約

束させました。また「再開発補助金やめよ、高さ制限を」との区民の声実現にがんばっています。民主党政権は、国民の期待に背き公約違反をつづけ、国民いじめの政治をすすめています。それだけに住民の守り手としての区政の役割の発揮が求められています。党区議団が昨年取り組んだ「区民アンケート」に2千名を超える方々から回答が寄せられました。ご協力にお礼を申し上げます。ご要望の解決に全力で取り組んでいく決意です。今年には都知事選挙、区議会議員選挙の年です。区民・都民の声をいさる政治めざしてがんばります。みなさんの積立金1240億円は暮らし・福祉・中小企業のために活用させます。今年も宜しくお願いいたします

公明党議員団



杉本 とよひろ



近藤 まさ子



達下 マサ子



古川 伸一



藤本 潔



林田 和雄

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様方には、常日頃より港区議会公明党に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。日本経済を取り巻く状況は、円高不況、財政赤字、世代間格差など、依然として厳しさが増えています。また、新卒未就職者が数多く

出るなど雇用環境への影響も懸念される事態にいたっています。区民生活に目を転じれば、中小企業の業績や雇用情勢に関する明るい兆しはまだ見えず、生活の基盤を支え、地域社会の抱える多様な問題に対する区民の関心は非常に大きなものがあります。私ども、公明党は、生活者の安

心を取り戻すため、地方経済の活性化をはじめ、「年金・医療介護」など、従来の社会福祉の充実に加え、独り暮らし高齢者の孤立化や児童虐待、DV、うつ病など、新たなリスクに対応できる「新しい福祉」を具体化し、輝く地域社会の実現をめざしてまいります。そのためにも、地方議員と国会議員のネットワークを誇る公明党の果たす役割は益々、重要であると感じております。私たちが港区議会公明党議員団は、これまで以上に区民の皆様の中に入り、お一人お一人の声を受け止め、生活者の目線に立った政策の実現、改革に全力を挙げて取り組むことをお誓い申し上げます。この一年、区民の皆様のご多幸、ご繁栄を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

みんなの党



小斉 太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。11月に新党派・港区議会みんなの党を結成しました。「脱官僚、地域主権、生活重視」の党理念に基づき、事業見直しや天下り禁止をはじめ徹底した行政改革、民間活力の積極導入、公正で透明な区政実現のために行動します。昨年度比90億円の減収が確実な状況です。600億円以上を投じる田町駅東口公共施設整備の再検討、基本計画1380億円を投じる「ハコ」もの建設見直しなどを特に訴えます。

仲間へ勇気の会



なかまえ 由紀

あけましておめでとうございます。昨年11月より、再び無所属の一人会派「仲間へ勇気の会」として議会活動を行っていくことになりました。まず、港区の人口増、税収増もいつまでも続きはしません。お納め頂いた税金を無駄にせず、区民ニーズに的確に添えていけるよう、今後も皆様の声に耳を傾け、議会で発言してまいります。皆様のご指導ご鞭撻に感謝し、信頼される政治を念頭に本年もがんばります。

第4回定例会会議日程

- 11月25日 運営委員会・本会議 会期決定 諸報告
- 26日 代表・一般質問4名 運営委員会・本会議 代表・一般質問5名 議案等付託
- 29日 総務・区民文教常任委員会 議案の審査/委員長報告
- 30日 運営委員会・本会議 4常任委員会/議案等の審査
- 12月1日 4常任委員会/議案等の審査 保健福祉・建設・区民文教常任委員会
- 2日 議案等の審査
- 3日 4常任・4特別委員会 委員長報告・中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決

【各会派の連絡先】

自民党議員団	電話 (3578) 2927 FAX (3578) 2909	公明党議員団	電話 (3578) 2935 FAX (3578) 2937
共産党議員団	電話 (3578) 2945 FAX (3578) 2947	フォーラム民主	電話 (3578) 2938 FAX (3578) 2949
保守日本	電話 (3578) 2958 FAX (3578) 2854	みんなの党	電話 (3578) 2933 FAX (3578) 2944
仲間へ勇気の会	電話 (3578) 2963 FAX (3578) 2944	不在の場合は区議会事務局 (3578) 2911へ	

代表・一般質問

(要旨)

11月

25・26日

対外見舞金、すなわち義援金について

自民党議員団

質問 我が国の主権を脅かした尖閣諸島の中国漁船衝突事件。これらを契機とした、中国国内での反日デモや日系小売店などへの投石を鑑みるにつけ、今まで行ってきた、見舞金、義援金、救済物資など無駄、無意味に終わったという歴然たる事実が残りました。港区で定めている「外国の都市等に対する災害見舞金等の取り扱い事項」による選定基準では「見舞金、義援金、救済物資を贈呈する」とあります。渡す可能性が港区としてある以上、慎重かつ極めてセンシティブな判断が区、議会に求められるのではないかと思われます。そこで、外国への義援金についての見解は。

答弁 あたかも、主権が分割可能なもののように申し立てているが、「主権は分割不可能な概念であり、国家のみが保有しうるものです。憲法、政治、体制理論的にはあくまでも官僚主導の中央集権体制への対案は、地方分権体制であり、「地域主権」ではありません。「地域主権」なる迷妄語が跳梁跋扈(ちようりようばつこ)している状況は看過できない問題であると考えますが区長の見解は。

答弁 国が本年6月に閣議決定した地域主権戦略大綱において、地域主権改革とは、日本国憲法の理念の下に、地域住民が自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことができるようにするための改革とされている。あわせて、地域主権については、日本国憲法が定める「地方自治の本旨」や、国と地方の役割分担に係わる「補完性の原則」の考え方を相まって、「国民主権」の内容を豊かにする方向性を示すものとされていることから、地域主権については、そのように受け止めている。

答弁 外国に対する見舞金は、区の友好都市が被災した国や、区内に大使館等がある国等において、大規模災害により甚大な被害が発生した場合に、人道的見地から区民を代表して弔意をお伝えするとともに、相手国の一日も早い復興と、友好関係がより発展することを願ってお渡ししている。今後このような考えを基本に、適切に対処していく。

主権について

質問 主権とは、国家にのみ存在する概念であり、主権によって成り立つのが国家であります。「地域主権」を口にする方々は、

教育、日本の伝統文化

質問 日本人としての誇り高き資質、教養を育成するために、

- ①子供たちへの教育が根幹であると考えるが、教育長の見解は。
- ②新学習指導要領のもとで今

後どのような指導を行っていくのか。

答弁 ①我が国の伝統や風習を大切にすることを養い、世界に誇れる日本文化の素晴らしさを学び、継承・発展させていく態度を育成することは、教育の重要な責務であると認識している。今後も、日本人としての自覚をもつて、日本文化の創造と社会の発展に貢献する資質や能力を養うよう努める。②先人の残した優れた文化的業績とそれを生み出した精神に学び、個性豊かな文化の創造を図る児童生徒の育成に向けた教育の充実に努める。

町会の加入促進について

質問 地域での課題を解決し、より快適で、安全、安心なまちづくりを実現していくためには、町会・自治会などの組織が果たしていく役割が大きいことは言うまでもありません。より良いまちにしていくためには、事業者の参加も重要と思うが、①事業所などの町会への加入促進に向けた取り組みについて。②事業所も多いため加入が低迷している赤坂・青山地区における取り組みについて。

答弁 ①町会・自治会への理解を深め、加入促進が図られるよう、地域イベント等を活用した積極的な広報を実施するなど様々な工夫をしていく。②事業所の町会・自治会等への加入促進のための効果的な方策について検討していく。

公園の整備について

質問 大人の目線による大人にとつて都合の良い公園、遊び場ばかりで、本来、遊びの天才であるはずの子どもたちがかわいそうでなりません。①子ども視点からの公園整備について。②プレーパークの取り組み状況と今後の見通しについて。

答弁 ①区は、幼児から高齢者まで幅広い人々が利用できる公園づくりを進めており、今後も地域特性を踏まえながら、子どもたちが多彩な経験や体験ができる魅力ある公園づくりに努める。②本年8月に行った体験プレーパークや意見交換会及びアンケート調査での意見を踏まえ検討している。今後、事業の考え方や区民協働のあり方など整理・調整した上で、平成23年度からプレーパークを実施していく。



▲元気に遊ぶ子どもたち

電線類の地中化の促進について

質問 電線類の地中化は、都市防災機能の強化や安全な歩行空間の確保、良質な都市景観の創出が可能となる。今後の電線地中化推進に向けての取り組みについて。

答弁 一定の幅員のある道路について鋭意取り組むこととしている。区による整備とあわせ、東京都道路整備保全公社への業務委託による施工や電線管理者が保有する既存管路を活用した施工を実施し、早期整備に向け

着実に取り組んでいる。

赤坂・青山地区における体感治安の実施と今後の予定について

質問 赤坂地区体感治安改善事業について、①パトロールに留まらぬ今後の活動計画について。②区内各地区への拡大の予定について。

答弁 ①赤坂地区の防犯に関する高い地域力を生かし、区民、事業者、警察等と協議しながら、子どもの安全確保、客引き行為の禁止、暴力排除活動等を推進していく。②各地区への拡大は必要であり、区民・事業者・警察等との連携体制を構築することが不可欠であると考えている。今後、新たに取り組み地域について、現在、警察等の関係機関と協議を進めている。

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度構築の進捗状況について

質問 ①区内の温室効果ガス排出量を減らしていくには、業務部門の排出抑制が重要と考えるが、区はどのような対策を検討しているのか。②みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の進捗状況について。

答弁 ①田町駅東口北地区公共公益施設での低炭素化の取り組みをモデルとして、民間建築物の省エネルギー化を誘導するための区独自の制度を検討している。この制度を促進し、業務部門の二酸化炭素排出量の抑制に努めていく。②平成21年度から学識経験者等による「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度運用委員会」を設置し今年度中の制度完成を目指し、検討を進めている。

高齢者福祉について

質問 厚生労働省の平成22年5月の「介護保険制度に関する意見募集」では、「自宅で介護を受けたい」が約70%で見逃せないものがあります。①施設整備や見守りだけではなく、今後さらに重要となる、在宅で介護、看護をしている人に対する支援について。②公共や民間の様々なサービスを熟知し適切にアドバイスできるコーディネーターの必要性について。③介護予防事業の今後の展開について。

見募集」では、「自宅で介護を受けたい」が約70%で見逃せないものがあります。①施設整備や見守りだけではなく、今後さらに重要となる、在宅で介護、看護をしている人に対する支援について。②公共や民間の様々なサービスを熟知し適切にアドバイスできるコーディネーターの必要性について。③介護予防事業の今後の展開について。

首長の育児休暇取得について

質問 首長の育児休暇、育児休業が話題になっています。世間では概ね否定的な向きが多いように見受けられるが、区長の見解は。

答弁 ①在宅介護や看護サービスの充実を含め幅広く支援する。②高齢者の総合的な相談・支援を行っている、地域包括支援センター職員が、コーディネーターの機能を十分に発揮できる体制の充実に努めていく。③来年4月に福祉会館から移行する「いきいきプラザ」を介護予防事業の拠点とし、多様な取り組みを総合的に進めていく。

厳しい社会経済状況を捉え、将来を見据えた財政運営を

公明党議員団

質問 今後の財政運営への見解は。答弁 蓄えてきた財政力を活用するとともに、財源確保に取り組み、不断の行財政改革により磐石な財政基盤の維持に努める。

雇用対策について

質問 ①合同就職面接会について。②雇用対策の取り組みについて。

答弁 ①多数の企業の参加と採用者数の向上が重要で充実に努める。②様々な施策実施とともに、防災センターを設け施設に関係機関と連携し効果的に推進。

中小企業支援策について

質問 ①資金調達は。②充実策は。答弁 ①資金調達のための円滑化は重要な。今後とも国の動向を注視し、

新郷土資料館について

質問 旧国立保健医療科学院跡地を活用した新たな郷土資料館の整備についての考えは。

答弁 既存区有地の有効活用による財政負担軽減の観点から、新郷土資料館の整備も視野に入れて、現在、教育委員会と調整を行っている。

田町駅東口北地区公共公益施設について

質問 完成後の管理運営について。

答弁 区民の施設として安全・安心の確保が重要。ユニバーサルデザインの考え方を取り入れるとともに、防災センターを設け施設全体を統一して管理運営する。

高層住宅の震災対策について

質問 エレベーター内の防災キットや階段避難車等の震災避難用具の助成支援は。答弁 専門的立場から、高層住宅



▲高層住宅の耐震対策

の防災住民組織結成や防災計画策定など居住者相互の共助体制づくりの支援開始。防災資器材を助成品目に加えることを検討。

低炭素社会への取り組みについて

質問 ①区有施設の温室効果ガスの排出削減。②区有施設と、③街路灯へのLED照明の導入を。

答弁 ①港区環境率先実行計画で、より高い削減目標を設定し、一層の取り組みの促進に努める。

②70施設でLED電球に交換。今後も積極的に導入。③製品開発の動向を見極めながら進める。

介護人材の確保と雇用の創出は

質問 「港区介護雇用プログラム事業」を来年度も継続すべき。

答弁 今年度の実績やアンケート調査などを踏まえ検討する。

高齢者住宅について

質問 ①高齢者の住み替え支援制度の普及促進。②地域コミュニティづくりを考えた整備を。

答弁 港区立高齢者集合住宅の選考方法を優遇抽選に変更した。引き続き制度の周知に努め支援策の充実を検討。②多様な住まいのあり方を、高齢者保健福祉計画の改定の中で検討する。

子どもの保育と学童クラブについて

質問 ①環境整備と課題解決への取り組みを。②待機児童対策は。

答弁 ①保育園の定員拡大とともに在宅での子育て支援策も実施。②学童クラブの充実を図る再配置計画を策定し、「港区次世代育成支援対策行動計画」に計画計上。今後も着実に実施。

HTLV-1の対策について

質問 ①二次検査まで公費負担を。②区民周知と妊婦への情報提供、研修と感染者の相談窓口設置を。

答弁 ①必要性を見定める。②広報やホームページに掲載、母子手帳交付時の案内などに努める。窓口で直接相談支援する保健師等の関係職員の研修を実施する。

教育の目的について

質問 ①自己肯定感を高め他人の気持ちを理解する体験的な活動や、人との関わりを持つ取り組みを実施せよ。②教員の質の向上とバックアップ体制を。

答弁 ①体験活動を重視し、他人への配慮や良好なコミュニケーションを図る教育活動を推進する。②経験年数や職層に応じた研修を体系化している。教員のフォローアップに関しては、今後も体制強化に努める。

最低制限価格の設定について

質問 実態に即した最低制限価格のあり方を検討すべき。

答弁 工事の品質を確保しつつ、適正価格での契約を推進するため、あり方を多角的に検討する。ひとり暮らし高齢者の見守り事業

質問 地域の人たちの見守りの拠点となる相談室を設置すべき。

答弁 ひとり暮らし高齢者の見守り事業の充実の中で、シルバー交番事業の活用の可能性を検討。

中小企業への融資支援策について

質問 企業融資のあり方、国・都への要請も含め支援への見解を。

答弁 12月から国のセーフティネット

保育園待機児童ゼロ、75歳以上医療費ゼロ、特養ホーム待機者ゼロを

共産党議員団

保育園の待機児童ゼロを

質問 私たちの実施した区民アンケートでは、「必要と思われる子育て支援は」の質問に「保育園の増設」が圧倒的だった。早急に公立保育園の建設を行うべき。国公有地等を活用して緊急暫定保育室を建設すべき。

答弁 区立認可保育園のみならず、緊急暫定保育施設の継続や増設の検討、認証保育所のさらなる誘致など、多様な手法により定員拡大を図る。

75歳以上の医療費負担をゼロに

質問 ①アンケートでは高齢者から高い医療費に怒りの声が寄せられている。当面、75歳以上の医療費負担をゼロにするよう国および東京都後期高齢者医療広域連合に求めよ。②国が実施するまで区として75歳以上の医療費ゼロの助成制度の実施を。

答弁 ①医療費の本人負担無料化は、慎重に対応するべき。国や東京都後期高齢者医療広域連合に求めることは考えていない。②区として医療費の助成制度を実施することは考えていない。

ト対象の融資を拡充し、利率を一部引き下げる。今後も融資制度や相談事業の充実を図り、金融機関には円滑な融資を要請。

Web図書館について

質問 区立図書館の利用改善推進の観点から導入を図るべき。

答弁 紙媒体と比べた双方の利点と課題を整理し検討を進める。

特別養護老人ホームの待機者をゼロに

質問 アンケートでは、介護サービスについての要望に対し「特養ホームを増設してほしい」が最も多い。特養ホームの待機者が増える中、区は待機者ゼロをめざして直ちに増設の計画をたてるべき。

答弁 入所希望者の状況や、要介護認定者数の推移を見定め、保健福祉基礎調査の結果等を踏まえ、在宅福祉施策の拡充やケアハウスやグループホーム等の住宅系施設の整備等も含めた、高齢者の多様な住まいについて高齢者保健福祉計画の中で検討していく。

質問 民主党政権は、子ども手当や高校無償化の財源確保のため、扶養控除や同居特別障害者控除を廃止した。所得税や住民税をもとに費用などが設定されている施策は、収入が増えないのに税金が増えたとえに費用負担が増えることになり、影響

軽減するための

は深刻。①国や、東京都に負担増にならない対策を行うよう要請を。②港区の施策については、負担増にならない対策を。

答弁 ①現時点で国や都に要請を行うことは考えていないが、引き続き国や都の動向を注視していく。②区としては、今回の税制改正による影響について実態把握に努めていく。

国民健康保険について

質問 来年度、賦課方式が「住民税方式」から「旧ただし書き方式」に移行する方向で検討が進められている。①国保料の値上げ、算定方式変更に伴う保険料の値上げはやめるべき。②国の負担を元にもどすよう求めよ。

答弁 ①特別区では、所得に応じて軽減措置を講じる等、保険料の上昇抑制に努めている。②区は、国に対し、地方への定率国庫負担割合の増等、保険制度の改善を要望した。

介護保険の改悪を許さないために

質問 2012年度の介護保険見直しに向け検討が始まっている。厚生労働省の見直し案は、負担増、給付減で、介護を受ける方や介護者に負担を押しつける内容。これでは何のための政権交代だったのか、国民が怒るのは当然だ。①国民に負担を押しつける改悪はやめるよう国に申し入れるべき。②区としても介護保険外の独自施策を増やすべき。

答弁 ①制度が改善されるよう、必要に応じて国に対して意見を述べていく。②介護保険外の独自施策については、制度改正の内容を注視しつつ検討していく。

質問 民主党政権は、子ども手当や高校無償化の財源確保のため、扶養控除や同居特別障害者控除を廃止した。所得税や住民税をもとに費用などが設定されている施策は、収入が増えないのに税金が増えたとえに費用負担が増えることになり、影響

軽減するための

質問 ①ワクチン接種については、政府が年度内実施を決め、補正予算に組まれている。すぐ実施できるようにすべき。②HTLV-1抗体検査については、厚生労働省から、妊婦健診に追加、公費負担するとの通達が出ており、すでに実施するところも出てくる。すぐ実施すべき。

答弁 ①来年度から、3ワクチンの接種費用の助成を実施していく。②妊婦健診は、都、特別区、市町村及び都医師会の5者協議で決定している。区としては、その結果を踏まえ実施していく。

ものづくり・商業観光フェアの改善について

質問 ①ものづくり・商業観光フェア実行委員会と協議し検討していく。②今後も東京産業貿易会館を含めた適切な場所を検討していく。③アンケート調査の実施と参加者から直接意見を聞く予定。

答弁 ①ものづくり・商業観光フェア実行委員会と協議し検討していく。②今後も東京産業貿易会館を含めた適切な場所を検討していく。③アンケート調査の実施と参加者から直接意見を聞く予定。

観光事業との連携で商店街の活性化を国際学級の設置について

質問 区長は港区のトップセールスマン。恵まれた環境や資源を積極的に活用し、多くの観光客を誘致し、商店街等の活性化につなげていくべきではないか。

答弁 港区観光協会や港区商店街連合会等と連携し、商店街や中小企業活性化を図っていく。

国内外への魅力の発信を

質問 港区が外国人にとって魅力あるまちであることを国内及び海外にも発信していくべき。

答弁 多様な機会を通じ区の国際化施策を積極的に発信していく。

13時間開所保育園の拡大について

質問 ワンモア保育がない区立保育園4園に早急な対応を。

答弁 順次実施拡大していく。

質問 ①業種別の組合で受け持つとか、商店街でブースを受け持つなど区内商店が参加しやすい工夫をすべき。②フェアの参加者が減っている。産業貿易会館での開催に戻すことも含め、場所の検討が必要。③行事参加者の意見を聞く場を設定する、アンケートで意見を聞くなど、関係者の声を聞き改善を図るべき。

観光事業との連携で商店街の活性化を国際学級の設置について

質問 区長は港区のトップセールスマン。恵まれた環境や資源を積極的に活用し、多くの観光客を誘致し、商店街等の活性化につなげていくべきではないか。

答弁 港区観光協会や港区商店街連合会等と連携し、商店街や中小企業活性化を図っていく。

国内外への魅力の発信を

質問 港区が外国人にとって魅力あるまちであることを国内及び海外にも発信していくべき。

答弁 多様な機会を通じ区の国際化施策を積極的に発信していく。



▲施設内での様子

麻布保育園・麻布福祉会館の建替えについて

質問 歴史的経緯も踏まえ、適切な場所の選定をしてほしい。

答弁 建替えに必要な条件を備えた適地が周辺にないため、六本木地域全体での施設整備も視野に入れ調査・検討、早期に本格施設を整備できるように努め

代表・一般質問

次項へ続く

代表・一般質問

る。旧麻布福祉会館・旧麻布保育園の建物の安全対策について

質問 6年間も放置の建物は、安全面からも早急に対策をすべき。

答弁 機械警備を導入し、防犯や施設の安全性を確保している。

東町小学校に保育園分園設置を

質問 請願も採択されたが、東町小学校に、麻布保育園の分園として保育室を設置し、活用を。

答弁 教育委員会と連携を図り、保育施設整備を検討していく。

シテイハイツ六木の建て替えについて

質問 住宅に困窮している高齢者や障害者の方々が入居できる住宅や、地域住民が必要としている福祉会館や子育て関連施設を計画に盛りこむべきである。

答弁 地域の課題等を踏まえ、幅広く検討していく。

健康みなと21について

質問 港区健康づくり行動指針の計画の最終評価は今年度。目標を達成しなかった指標については計画終了後、どのような取り組みをしていくのか。

答弁 港区地域保健福祉計画などの見直しの際に反映させ、総合的な健康づくりを推進していく。

国民健康保険料の値下げを

質問 区民が払いたくても高すぎる国民健康保険料を区は、あらゆる方法で値下げに向けて取り組んでいくべきである。

答弁 保険料の上昇抑制に努める。

介護保険制度の見直しについて

質問 次期介護保険事業計画の

策定は区民の介護の実態から、積極的に充実すべきと考える。

質問 利用者本位の制度となるよう国に対し提言をしていく。

新たな生活保障制度の実現を

質問 雇用労働政策や高齢者の生活保障制度の創設など諸制度の実現こそ求められている。

答弁 国の責任において、対策が講じられるよう対応を行う。

自立支援プログラムの拡充・強化について

質問 生活保障制度に求められているのは一人ひとりに寄り添う自立支援。プログラムの拡充・強化を行うべきでは。

答弁 受給者の自立を体系的、組織的に支援していく。

これからの基礎自治体としての姿勢について

保守日本

質問 ①国会で地域主権改革関連三法案が審議されている。政府に訴えるべきことは。②特別地方公共団体からの脱却について。③地方分権の区民への周知は。

答弁 ①今後国の動きを注視し、基礎自治体の長として必要な主張を行う。②都区民のあり方検討委員会には、住民に身近な事務は区が担うべきと協議に臨み、今後特別区のさらなる自治権拡充に取り組む。③地域主権改革、自治権拡充の議論の状況に応じ、広報等を活用し周知する。

緊急時の報道体制のあり方は

質問 高齢者所在不明事案では、多数の報道機関からの問い合わせに所管部門が直接対応、本来

証明書自動交付機の拡充を

質問 自動交付機が設置されていない芝・麻布地区にも拡大を。

答弁 必要に応じ総合的に検討。

国際学級の設置について

質問 現在の進捗状況と今後の方向性について。

答弁 今年度末を目途に国際学級モデル案構築に取り組みたい。

いじめの問題について

質問 いじめが学校からなくなるような取り組みについて。

答弁 いじめ根絶に向け学校、保護者、地域、関係機関の協力を得て一体となり取り組んでいく。

向け広報、特に緊急時における広報のあり方を見直すべき。

質問 緊急時の情報伝達は、情報を取得する方への配慮が必要。

答弁 必要に応じ総合的に検討。

産業交流展での企業支援について

質問 産業交流展に区内事業者も数多く出展。各ブースに港区の表示板も掲げられ、民間と行政のタッグが感じられた。一方せつかくの技術も実用化にはハードルがある。まず区有施設に導入しても良いのでは。出展支援だけでなく需要が増えることを目的に、さらなる普及支援を。

答弁 区のホームページ、メールマガジン、情報紙「こうりゅう」等に出展企業の取り組みや商品情報を掲載し、さらに販路拡大に繋げるよう継続的に支援。

教科書の採択について

質問 ①来年度小学校教科書が

子どもの育ちに対する公費負担の理念を明確に示すべき

みんなの党

質問 区立幼稚園3歳児保育拡充、認可保育園増設、緊急暫定保育施設の期間延長、在宅子育て支援施設の建設整備、等々。各所管課が区民ニーズに応える名目で行政主導の施策展開を続けている。しかし、縦割りで総花的な取り組みでは、子どもの育ちの環境が抱える問題を本質的に解決できない。極めて疑問。例えば、既存の規制が保育園への民間の本格参入を阻害しているから、潜在需要に対するサービス供給がなされない、という本質的議論がない。試算では、

お上お墨付き施設に預けられる子どもへの公費負担は一人あたり年間135万円。家で育てられる子どもは8万円。縦割りの壁を越え、またお上お墨付きによる税金投入のあり方を含めて、子どもの育ちに対する公費負担の理念を明確に示せ。

答弁 次世代育成対策行動計画で理念提示。どんな環境でも健やかな育ちを支える施策を推進。

質問 縦割りの枠組みを超えた議論のテーブルがなかったはず。準備すべき。

八月末に採択された。都教委は社会科の審査観点として、地域の人々が受け継いできた文化財、国家社会の発展に尽くした先人等の掲載回数を明示し、北朝鮮による拉致問題、神話や伝承について教科書各社の記述内容を比較。区教委はどの観点から教科書を採択したのか。②世界価値観調査二〇〇五によると、自国民であることに誇りを感じる人の割合で、日本は五七・四％。自分の生まれた国の歴史や伝統文化に誇りをもてる国民に育てるのが教育ではないか。中学校教科書採択については。

答弁 ①調査研究委員会を設置し、学習指導要領に基づき、内容の選択、構成・分量、表記・表現、使用上の便宜等研究の観点から明示し調査。様々な資料等も参考に適正かつ公正に採択。②十分に協議し適正かつ公正に採択。

答弁 区長部局と教育委員会が議論、協議して次世代育成支援対策行動計画を策定。今後もこれらまで同様に取り組む。

高樹町通りの整備促進

質問 ①高樹町通りの拡幅は必要か。②実現に向けた具体的、積極的取り組みは。③車いすや雨降りにはすれ違いもできない

答弁 ①必要。②次期整備方針に盛り込まれるよう東京都と協議する。③現状幅員で通行しやすい歩道整備に取り組む。

多様化する区民ニーズをいかに的確に把握するか「ちいばす」について

仲間へ勇気の会

質問 高層マンション出現などに伴う人口増、若いファミリー層の増加など、近年区の人口動態が急速に変化。人口は平成8年約15万人が今年20万人と驚異的に増加、かつゼロ歳から4歳や30代、40代の伸びが顕著。区政の課題も当然変化し、保育園需要の急増はその典型例。変わりに行く課題を的確に把握し、また先取りし、区政に反映することが重要。また町会を通しておおよそのニーズ把握ができる時代は終わり、いわゆるサイレントマジョリティの声もくみ上げてこそ公正で満足度の高い税金の使い方につながる。①ニーズ把握で重視している点は。②近年増えた意見・要望は。③今後いかに広聴手法を工夫していくのか。

答弁 ①年代や居住年数等にも配慮し幅広く意見を聴くことが重要。②増加著しいのは子育て、子どもの支援。タバコや「ちいばす」についても増加。③インターネットによるアンケート調査も含め広聴手法のあり方を検討。

質問 「ちいばす」の①新規5路線運行開始から約8ヶ月。利用者数は徐々に増えているが各ル

狭い歩道、通行上支障もあり景観上も美しくない歩道の凹凸や電柱設置状況、街路灯も非常に古く薄暗すぎる夜道、等々。高樹町通りの現状の改善を早急に実施せよ。

答弁 ①必要。②次期整備方針に盛り込まれるよう東京都と協議する。③現状幅員で通行しやすい歩道整備に取り組む。

トで差が出てきている。利用者数の割合と今後の工夫は。②様々な改善要望が寄せられている。もとは福祉目的でスタートした事業だが、実際は多様な世代が利用しており、運賃への満足度も高いなど多くの方に喜ばれている。しかしバス停の場所や名称、運行時間帯、乗り継ぎ割引やルート変更など課題もある。対応は。

答弁 ①新規5路線全体に占める各ルートの利用者数の割合は、多い順に高輪26%、芝浦港南21%、青山20%、麻布17%、芝16%。今後も多角的に利用者サービスの向上に努める。②改善要望は短期、中期、長期的課題に分類し、実現可能な項目から対応する。



区議会議員の報酬月額及び期末手当の支給月数を引き下げました。

高輪保育園・児童館の改築工事の完了に伴う条例を可決しました。

平成22年第4回定例会は、11月25日から12月3日まで開会されました。はじめに、9人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。質問は「対外見舞金、すなわち義援金について」、「厳しい社会経済状況を捉え、将来を見据えた財政運営を」、「保育園待機児童ゼロ、75歳以上医療費ゼロ、特養ホーム待機者ゼロを」、「観光事業との連携で商店街の活性化を」、「国際学級の設置について」、「これからの基礎自治体としての姿勢について」、「子どもの育ちに対する公費負担の理念を明確に示すべき」、「多様化する区民ニーズをいかに的確に把握するか／「ちいばす」について」、など区政全般にわたりました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など25件を原案どおり可決・承認しました。みなさんから提出された請願は、3件を採択、19件を継続審査としました。議員提出による案件は、条例改正1件を可決、5件を継続審査としました。また、追加提出された人事案件は、人権擁護委員候補者の推薦について3件を可決しました。

提出された請願

採択とした請願

▼重症心身障害者や重度重複障害者が安心して暮らせる施設の設置に関する請願

(要旨)重症心身障害者や重度重複障害者が安心して暮らせるような入所施設を区内に設置されたい。

▼「工事車両通行被害から住民を守る会」とMTC計画新築工事(仮称)の施工会社である大成建設株式会社が交わした協定遵守並びに、工事車両説明会で住民に説明した内容を遵守されるべく、施工会社大成建設株式会社に対し、厳正なる指導をお願いしたい。

▼「工事車両通行被害から住民を守る会」とMTC計画新築工事(仮称)の施工会社である大成建設株式会社が交わした協定遵守並びに、工事車両説明会で住民に説明した内容を遵守されるべく、施工会社大成建設株式会社に対し、厳正なる指導をお願いしたい。

▼「後期高齢者医療制度実施にともなう区民の負担増に対して軽減策を求める」請願

▼区民が必要な介護を受けられることを求める請願

▼港区立幼稚園で在園児の兄弟姉妹入園優先枠の設定、地域優先

▼「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願

▼一日も早い待機児の解消を願う請願

▼運河沿い遊歩道の一部迂回を求める請願

▼港区における障害者等の個人情報に関する請願

▼港区立幼稚園における在園児兄弟姉妹優先枠の設定および地域優先枠の設定に関する請願

▼女子差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書提出の請願

▼港区の「朝鮮学校児童生徒保護者補助金」を廃止する請願

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願

▼「選択的夫婦別姓制度を盛り込んだ民法改正」に反対する意見書採択を要望する請願

▼港区議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願

▼田町駅東口北地区公共公益施設に関する請願

▼国民健康保険料の値上げ中止を求める請願

▼少人数学級実施に関する請願

▼「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願

▼一日も早い待機児の解消を願う請願

▼運河沿い遊歩道の一部迂回を求める請願

▼港区における障害者等の個人情報に関する請願

▼港区立幼稚園における在園児兄弟姉妹優先枠の設定および地域優先枠の設定に関する請願

▼女子差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書提出の請願

▼港区の「朝鮮学校児童生徒保護者補助金」を廃止する請願

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願

▼「選択的夫婦別姓制度を盛り込んだ民法改正」に反対する意見書採択を要望する請願

▼港区議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願

▼田町駅東口北地区公共公益施設に関する請願

▼国民健康保険料の値上げ中止を求める請願

▼少人数学級実施に関する請願

議員提出案件

継続審査とした案件

▼港区における平和行政の推進に関する条例(平成20年3月11日提出)

▼港区子どもの人権オンズパーク条例(平成20年3月11日提出)

▼港区高齢者の医療費の助成に関する条例(平成21年10月9日提出)

▼港区財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例(平成22年10月8日提出)

▼港区子ども条例(平成22年12月3日提出)

▼「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願

▼一日も早い待機児の解消を願う請願

▼運河沿い遊歩道の一部迂回を求める請願

▼港区における障害者等の個人情報に関する請願

▼港区立幼稚園における在園児兄弟姉妹優先枠の設定および地域優先枠の設定に関する請願

▼女子差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書提出の請願

▼港区の「朝鮮学校児童生徒保護者補助金」を廃止する請願

▼選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願

▼「選択的夫婦別姓制度を盛り込んだ民法改正」に反対する意見書採択を要望する請願

▼港区議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願

▼田町駅東口北地区公共公益施設に関する請願

▼国民健康保険料の値上げ中止を求める請願

▼少人数学級実施に関する請願

常任委員会の活動記録

総務

●「港区みなと保健所庁舎改築工事請負契約の変更」の「専決処分」(承認)

○主な質疑

①当該地の地歴

②変更金額の妥当性

●平成22年10月1日、港区港南五丁目において、乗用車を損傷させた事故損害賠償額6万4995円の「専決処分」(承認)

○主な質疑

①安全運転に関する定期的な講習会の実施

②事故を起こした職員に対する運転再開までの区への対応

●平成22年度港区一般会計補正予算(第二号)(原案可決)

○主な質疑

①区民に対し大規模施設整備等の費用対効果を示す必要性

②高輪橋架道橋下区道整備において周辺の開発動向を見通した計画を行うこと

●港区高輪地区総合支所昇降機設備設置に伴う電気設備工事の「工事請負契約の承認」(原案可決)

○主な質疑

①同時期に工事を予定している区民センターの区民ホールに設置される調光・音響設備

②既存の非常用発電機を活用すること

●(仮称)港区立港南四丁目公益施設新築に伴う新築工事、電気設備工事及び空気調和設備工事の「工事請負契約の承認」3議案(3案原案可決)

○主な質疑

①事業全体経費の総額

②今後のコミュニティ施設の考え方を

●港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区長等の給料の額、期末手当の支給月数及び教育長の給料の額を改定する「港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例」及び「港区教育委員会教育長の給与、旅費並びに勤務条件に関する条例の一部を改正する条例」2議案(2案原案可決)

○主な質疑

①特別区人事委員会の勧告内容を超える削減を行うこと

②特別職の職責を勘案し削減を行わないこと

●特別区人事委員会の勧告を受け、職員の給与を改定する「港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑

①人事委員会勧告制度の目的と労働基本権制約の内容

②給与の引き下げが関連する外郭団体等に及ぼす影響

●平成22年度港区一般会計補正予算(第三号)、平成22年度港区

保健福祉

●高輪いきいきプラザ、高輪保育園、高輪児童館の建築・改築工事の終了及び三田いきいきプラザに講習室を新設することに伴う「港区立いきいきプラザ条例の一部を改正する条例」、「港区立保育園条例の一部を改正する条例」及び「港区立児童館条例の一部を改正する条例」3議案(3案原案可決)

○主な質疑

①区内福祉会館の講習室設置の有無及び使用料の設定基準

②喫茶コーナーの仕様及び利用対象者

●高輪子ども中高生プラザを設置する「港区立子ども中高生プラザ条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑

①音楽スタジオの面積及び部屋数

●閉会中の委員会における活動

○主な報告事項

①港区立高齢者集合住宅の入居者選考方法の変更

②東麻布保育園(緊急暫定保育施設)の継続

区民文教

●芝浦幼稚園、港南幼稚園及び芝浦小学校の改築工事が終了に伴う「港区立学校設置条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑

①朝の通勤時間帯における通学路の安全対策

②新校舎における防犯対策

●高輪図書館分室を設置する「港区立図書館条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑

①分室設置による高輪図書館図書資料への影響

②図書資料の新規購入における他の図書館との調整

●特別区人事委員会の勧告を受けて、幼稚園教育職員の給与を改定する「港区幼稚園教育職員

●国民健康保険事業会計補正予算(第一号)、平成22年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第一号)及び平成22年度港区介護保険会計補正予算(第二号)4議案(4案原案可決)

○主な質疑

①職員人件費減額の総額

●閉会中の委員会における活動

○主な報告事項

①港区基本計画・地区版計画に関する区民意識調査

②港区基本計画(後期3年)の見直し

●国民健康保険事業会計補正予算(第一号)、平成22年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第一号)及び平成22年度港区介護保険会計補正予算(第二号)4議案(4案原案可決)

○主な質疑

①滞納理由

②和解条項の内容

●公募によらずに区立住宅を使用させることのできる事由を追加する「港区立住宅条例の一部を改正する条例」(原案可決)

○主な質疑

①公募によらずに区立住宅を使用させる理由及び対象となる入居者への説明状況

②借り上げ期間の途中で入居者が退去して空室となった場合のその後の募集

●建物の明渡し及び滞納使用料等の支払を求める「訴えの提起」2議案(2案原案可決)

○主な質疑

①滞納理由の詳細

②滞納期間中の滞納者への働きかけ

●閉会中の委員会における活動

○主な報告事項

①東京都計画地区計画の決定(案)(浜松町一丁目)

②港区緑と水の総合計画(素案)

建設

●建物使用料等滞納分支払の請求に関する和解に係る「専決処分」(承認)

○8項上段(つ)きます

●建物使用料等滞納分支払の請求に関する和解に係る「専決処分」(承認)

○8項上段(つ)きます

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

Table with columns for case name (平成22年 第4回定例会 案件名), party status (議自民, 議公明, 議共産, 民フォーラム, 保守日本, 党みんなの, 仲間へ), and decision result (議決結果). Rows include items like '専決処分について' and '港区立住宅条例の一部を改正する条例'.

の給与に関する条例の一部を改正する条例(「原案可決」)
○主な質疑
①人事考課制度に基づく勤勉手当の支給方法及び支給率
②公務員の給与引き下げが景気や経済に与える悪影響に対する認識

閉会中の委員会における活動
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項
①港区行政情報多言語化ガイドライン
②港区中小企業融資の拡充

閉会中の主な報告事項
●閉会中の主な報告事項
①平成23年度以降の最終処分委託料の改定
②平成23年度「清掃負担の公平」による負担の調整額の確定

特別委員会の活動記録
交通・環境等対策

本会議(代表・一般質問)の録画映像をごらんください!!
港区議会では、インターネットで、本会議の録画映像を配信しています。平成21年第2回定例会から平成22年第4回定例会の代表・一般質問までの映像を配信しています。

一時保育のお知らせ
区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることがあります。

議会人事の動き
◎会派結成
11月12日に新会派が結成されました。
『みんなの党』
所属議員 小斉太郎

あとがき
編集委員
副議長 達下 マサ子
山阿熊近池達
本部田藤田こうじ
閉留浩ちづ子

◆この「区議会だより」は、新聞(朝日・毎日・読売・日本経済・産経・東京)に折り込んでいます。また、郵便局(赤坂・一ツ木通・麻布・芝・芝公園・新橋・高輪)、公衆浴場、東京メトロ7駅(表参道・乃木坂・赤坂・広尾・神谷町・白金台・六本木一丁目)などに置いてあります。